
絶対に笑ってはいけない中学生生活 24時

ちょみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

絶対に笑ってはいけない中学生生活24時

【Nコード】

N9145Z

【作者名】

ちよみ

【あらすじ】

ぶよぶよのキャラ6人が中学生生活で大爆笑！？

プロローグ

プロローグ

りんご「おはようございます」

まぐる「オハヨ」

7組と…。

アミティ「うわっ！」

シゲ「うへへ」

フィーバー組に…。

アルル「いたた…」

シエゾ「くっ…」

初代組の6人が呼び出された。呼び出したのは、作者だ。

作者「ようこそ、諸君。これからあることをやってみてほしい。」

まぐる「と、いいますと」

作者の顔をじつと見る6人。

作者「ある中学で、中学校生活をしてもらいたい」

バスの中にて。

りんご達6人は、バスに乗った。すでに後ろが埋まっている。さすが通勤・通学時間といったところだろうか。バスの運転手を見たアルル。するとアルルは…。

「ハハハ…、河童!!」

笑ってしまったので、アルル、OUT。作者のピカチュウの10万ボルト。

「や〜め〜て〜!」

その次にアミティを見た。アミティも

「ほ、本当だ、河童だ!ハハハ・・・!」

アミティ、OUT。作者のシビルドンの10万ボルト。

「うわ〜ん!!」

ちなみに、運転手の河童はカッペイである。

「ひっ、非科学的存在!!まぐる〜ん!!」

笑うどころか、驚いている。というか、怖がっている。

「何がおかしいのかが、さっぱりわからん。」

シエゾは何がどうなっているのか分かっていない。しかし、シグはもっと分かっている。ふてくされている。

「虫…、いない。」

まずはそこか。そしてほとんど虫を見てにやけただけのシグもOUI。作者のローブシンのけつバットならぬ、けつコンクリート。

「う~~~~~あ~~~~~」

シグの悲鳴。どうやら、にやけても駄目の様だ。シエゾは今になって、

「こうしているんだったら、アルルの魔力を奪うために追いかけていたほうが…。」

といった。ここでもヘンタイ発言。そしてそれを聞いていたりんこが、

「ぐぶぶ…。」

笑ってしまった。りんごOUT。作者のゼクロムの雷撃。

「し〜び〜れ〜ま〜すうううー！」

20分経過。6人は笑いをこらえ、無事じゃないが、学校に到着した。

バスの中にて。(後書き)

次回は、あの2人が担任!?

校門にて。

校門で、誰かが待っていた。ルルーと…、変わったエコロだ。

「ぶぶぶつっ！！」

りんご・アルルOUT。さて、彼女らが笑った原因。それは…。2人が何を着ていたかだ。エコロは人間体でジャージ、ルルーはレディースのスーツだった。罰ゲームは、作者のピカチュウとシビルドンによる10万ボルト×2。

「やめ〜て〜！」

「し〜び〜れ〜ま〜…いやあああああ！」

「担任のルルーよ。男女でクラスが分かれているから。女子組は私よ。」

「ぶぶ！！」

アルル、再びOUT。作者のビクティニのVジェネレート。

「燃えてるうううう！？」

はい、燃えています。その後、作者のバスラオによる「なみのり」で火は消えた。

「早く終わらないかな〜」

ちなみにエコロは、まぐろを見て舌打ちした。そのときだけ、普通のエコロに戻ったので、

「くくくくくぶぶつ!!」「くくくく」

全員、OUT。作者のローブシン登場、更に電王のソードフォームに、フォーゼのエレキステイツ。

「ぎゃああああああああああああああああ」

「それバットじゃなくて剣~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~!!」

「なんで俺だけええええええええええええええええええ、電気が混ざってんだあああ!!」

女子組は…、マジイエラーによる、イエローサンダー。

「くくくわああああああ!!」「くくく」

悲鳴。悲鳴の嵐。

男子組も担任は、エコロである。まさか、あんなよだれを垂らした黒い影が、まさか教師をやっているなんて。

「僕が、男子組の担任だよ〜う?」

波乱の1日、スタート。

校門にて。(後書き)

次回は教室には、だらけ!?

教室にて まぐる編

まぐる班とりんご班に分かれ、教室に入った。教室には……。いろんな人がいるなと思ったら、1人だけ……スーツ！？

「ぶふっ
」

まぐる、OUT。今回のけつバットは、クラスに混じっているゴークイブルーによるものだ。

「ぎゃああああああああああ 何かさっきより、グレードアップしているうううううううう」

こんな時でもなんでオサレ何だろうか。まあ、どうでもいい。さっきのスーツは、何かという……。

「天空、忍びチェンジ！」

の成れの果て。シュリケンジャーだ。シエゾはもしかして……と思い、エコロに聞いた。

「なあ、これってこの世界で言う「スーパー戦隊」って奴か？」

ご名答。このクラスは、男性の戦士が集まったクラス。

「そっだよ〜ん。じゃあ、皆変身しても大丈夫だからね。」

「『『『ガオアクセス！』』』」

「忍風、忍びチェンジ！」

「迅雷、忍びチェンジ！」

「爆竜チェンジ！」

「チェンジスタンバイ、エマンジエンシー、デカレンジャー」

「天空聖者よ、われらに魔法の力を！魔法変身、マジ・マジ・マジ・マジ・マジ」

「ボウケンジャー、スタートアップ！」

「滾れ、獣の力！ビースト・オン！」

「響け、獣の叫び！ビースト・オン！」

「研ぎ澄ませ、獣の刃！ビースト・オン！」

「チェンジソウル、セット！レッツ・ゴーオン！」

「一筆奏上！」

「一貫献上！」

「チェンジカード、天装！」

「ゴーカイチェンジ！」

一斉変身。赤、青、黄色、緑…。

「フフフ…。」

シグOUT。なんで笑ったのか。実は嬉しさのあまり、喜んでしまったのである。バスの中での学習能力、ゼロ。けつバットは、アバレットのティラノロッド。

「バッドじゃない。うあああああああああああああああああああああああ
あああ!！」

何を喜んだのか。よく、見てみよう。ハリケンジャー（ゴウライジャー）モチーフ。それは…、虫。

「おまえ、喜ぶのも駄目だと言っていただろ。」

シエゾは、呆れるくらいのことしか出来なかった。地獄のHR、スタート。

教室にて まぐる編（後書き）

アルル「ひどくない？」

お約束なので仕方ありません。

HEREで。まぐろ編(前書き)

「〜」口口口

HRにて。まぐる編

地獄のHRとも知らず、普通に教室に入ってしまった。

「と、言うことで、体験入学的なのだよ〜ん!」

シグとシエゾとまぐるの背を順番に触った。すると、シエゾが

「フフツ」

と笑ってしまった。シエゾ、OUT。仮面ライダー響鬼登場!音撃棒烈火でけつバット!

「ちょっと待てえええええ!ぬおおおお!」

原因は何か。背筋に指が当たったのだ。

「くすぐったいよね」

まぐるは納得。シグはさっきのゴウライジャーでの喜びが止まっていない。

「出席とるよ〜ん。」

やっとまともだと思った3人。しかし…。

「アバレブルー!」

「」「」「ぶぶっ!」()「」「」

全員OUT。ヒーローの名前で出席を取る奴がここにいたあ!?

「「「いまの出席のとり方、卑怯だろおお!」「」」

校長先生である、アカレンジャーキタアア!

教頭のビッグワンキタアア!

理事長のアカレッドキタアアア!

「「「ウソオ!」」」

ホームルーム
HRは地獄の世界である。

チャイムが鳴っている・・・と思ったら?

「秘密戦隊ゴレンジャー」

もはやチャイムではない!

「フフ…」

まぐる、OUT。というわけで、今回はヒロロから。

「楽しいよ。君の悲鳴。」

「お前は下Sウウウウ!?! いったあああ」

これからの授業も非常に地獄である。

HRにて。まぐる編（後書き）

次回、りんご編！

教室での大爆笑！（かも）

教室の前に、待機室にて。りんご編。

りんごたちは、まぐるたちが後で案内させられる、待機室にいた。

「机が6つあるね。ここがあたしだ!！」

アミティがイスに座った瞬間、バネの力で跳ね上がった。

「ふふつ。」

りんご、アルル、OUT。ジャンこと、ゲキレッドによる、激技、
咆哮弾。ほうほうだん

「いったああああ!！」

恐怖の机と言われる、このトリック。りんごが恐る恐る机の引きだしをあげた。

「な、何これ…。」

引き出しから2枚のDVD。後ろには、テレビとブルーレイレコーダー。見てみることにした。

〈マツコの恋愛物語〉

「ぶふつ!！」

りんご、OUT。作者のジノットによる流星群。

「うわあああ！..！」

これから教室に移動する・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9145z/>

絶対に笑ってはいけない中学生生活 24時

2012年1月14日10時50分発行